

卓越技能者を表彰

わだい④

1月11日、舟形町卓越技能者表彰式が役場で行われました。これは、町内の技能者の地位と技術水準の向上を図るため、町産業の発展に貢献するとともに他の模範となる優秀な技能者を表彰する、新しい取り組みです。

受賞者は、建築大工の沼沢修さん（一の関）と相馬静夫さん（長者原）、和裁の高橋ミツ子さん（一の関）、建築左官の田中正さん（福寿野）の4名です。おめでとうございます。



県知事に要望書を提出

わだい⑤

1月15日、森町長は八楯町会議長、伊藤県議会議員とともに県庁を訪問。県知事と県教育長それぞれに、「縄文の女神」里帰り展の実現に向けての要望書を提出しました。昨年秋に開催された「郷土yamagataふるさと探求コンテスト」で、舟形中学校1年生が「縄文の女神」をテーマに発表し優秀賞を受賞するなど、子どもたちの間でも郷土の縄文文化に関心が高まってきています。この里帰り展の実現により、町全体の縄文文化、「縄文の女神」に対する気運の更なる上昇につなげたいものです。



長寿褒賞

わだい⑥

1月16日、今年数えて100歳を迎えられた加藤マサさん（木友）に長寿褒賞が授与されました。町長より賀詞とお祝い金が贈られると、加藤さんは「このような場を設けてお祝いをしてもらい、ありがとうございます」と感激していました。

今でも体を動かすことが好きな加藤さんは、^{くわ}鉾を持って畑仕事をされるそうです。大正、昭和、平成そして新しい元号と、ますますのご長寿をお祈りします。



最上地区食味コンクールで受賞

わだい①

12月14日、最上産米の評価向上を目的に、「オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部食味コンクール」が行われました。審査の結果、沼澤辰成さん（一の関）が「はえぬき」の部で最優秀賞、豊岡学さん（長者原）が「つや姫」の部で優秀賞に選ばれました。

沼澤さんは、「家族や地域の先輩、農協さんの指導のおかげです」と話していました。沼澤さんの米は、県本部主催のコンクールに出品されます。



みんなで事故を防ぎましょう

わだい②

12月15日、中央公民館で舟形町交通安全町民集会在開催されました。これは、舟形町交通安全対策推進協議会が、重大事故を未然に防ぐために初めて企画したものです。

当日は、町の交通安全関係団体や防犯協会から35名が参加。新庄警察署交通課長の石井健一郎氏による講話の後、町内の3金融機関を訪れ、来店者に対して交通事故や振込め詐欺等の被害防止についての呼び掛けを行いました。



地域の未来を考える

わだい③

12月17日、長沢集学校で、最上地区高校生地域活動セミナーが開催されました。これは県教育委員会が主催したもので、最上地区の高校生が地域課題や地域活動について学ぶためのきっかけづくりを目的としています。

当日は、最上地区の高校生のほか、最上地区で地域活動に取り組んでいる青年や地域住民など、約30名が集まり、交流を図りながら地域の未来について話し合いました。



1/19 長沢地区老人クラブ 第9回ワナゲ交流大会



▶約70名の参加者が、和気あいあいと競技していました。

1/12 舟形ほほえみ保育園 無病息災と豊作を祈って



▶園児たちが、町老人クラブ連合会のみなさんと一緒に水木団子を飾りました。

1/7 町消防安全祈願祭・出初め式 無事故・無火災を祈願



▶約200名の団員が参加し、安全祈願や分列行進、祝賀放水を行いました。

12/27 舟形町ゴルフ愛好会「水曜会」 町のために寄付



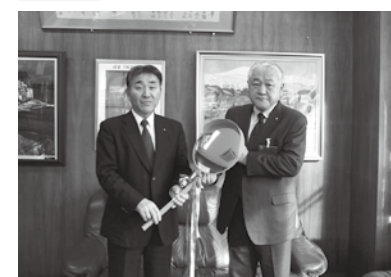
▶町活性化のため役立ててほしいと、5万円を寄付していただきました。

12/25 最上広域消防南支署 消防ポンプ車配備式



▶地域を火災から守るため、新しいポンプ車が配備されました。

12/8 カーブミラーの寄贈 町の事故防止のために



▶全国共済農業協同組合連合会山形支部から、カーブミラー4基が寄贈されました。